



News Release

平成29年2月8日

地震国における災害軽減研究に関する国際シンポジウム ～リアルタイム監視システム、シミュレーション、観測と教育について～

地震・津波被害軽減研究では国際的な連携が必要不可欠です。本国際シンポジウムでは、被害地震が多発するインドネシア、台湾、日本の研究者を招いて、今後の地震・津波の減災科学研究について議論します。特に海底観測網・リアルタイム情報の利活用研究、シミュレーション研究、調査観測研究ならびに減災教育研究といった分野における研究の現状と成果について紹介します。

入場は無料となっておりますので、是非ご参加下さい。

1. 日時：平成29年2月18日（土）10:00～17:00
2. 場所：香川大学林町キャンパス6号館 6201講義室
3. 参加費等：無料、2月16日（木）申込〆切（当日参加可）
※ご来学の際は、公共交通機関をご利用ください。
4. 受付時間：9:30～
5. プログラム（※内容については、別添チラシ参照）

<第1部>10:00～12:30 国際セッション（座長 金田義行）

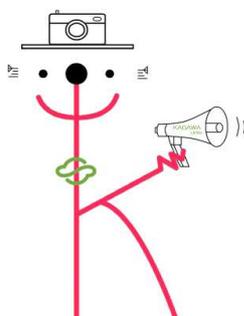
（※国際セッションは英語発表です。同時通訳はございません）

- ・ Bambang Setyadji（インドネシアバンドン工科大学）
- ・ Nuraini Rahma Hanifa（インドネシアバンドン工科大学）
- ・ Yu-Lien Yeh（台湾国立中正大学）
- ・ 金田義行（香川大学）

<第2部>14:00～17:00 減災科学セッション（座長 磯打千雅子）

- ・ 青井真（防災科学技術研究所）
- ・ 高橋成美（防災科学技術研究所）
- ・ 川口勝義（海洋研究開発機構）
- ・ 馬場俊孝（徳島大学）
- ・ 磯打千雅子（香川大学）
- ・ 野々村敦子（香川大学）
- ・ 白木渡（香川大学）

6. 主催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構



➤ お問い合わせ先
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
TEL：087-864-2544 FAX：087-864-2549
E-mail：kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

on Disaster Mitigation Researches in Earthquake-Prone Countries

-Real time monitoring systems, simulations, observations and educations-

地震国における災害軽減研究に関する国際シンポジウム
～リアルタイム監視システム、シミュレーション、観測と教育について～

2017年2月18日(土)

10:00～17:00 [開場 9:30～
受付]

香川大学林町キャンパス6号館

6201講義室

(香川県高松市林町2217-20)

<http://www.kagawa-u.ac.jp/iecms/>

Program ～プログラム～

<開会挨拶 10:00～10:05>

☆主催者挨拶 Yoshiyuki Kakehi - 笈 善行(香川大学理事)

<第一部 10:05～12:30>

☆国際セッション 座長 Yoshiyuki Kaneda - 金田 義行

1. Tectonics Geodesy Research and Education to Support Disaster Risk Reduction in Indonesia
Bambang Setyadi(インドネシアバンドン工科大学)
2. Megathrust Earthquake Segmentation for the Updating of National Earthquake Hazard Map 2016
Nuraini Rahma Hanifa(インドネシアバンドン工科大学)
3. Earthquake Education and Discovery in Southwest Taiwan :The Current Mission and Future Plans
Yu-Lien Yeh(台湾国立中正大学)
4. Resilience Science Against Future Natural Disaster
Yoshiyuki Kaneda - 金田 義行(香川大学)

<昼休憩

12:30～14:00>

※ 第一部国際セッションは英語発表です。
同時通訳はございません。



【主催：香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構】

地震国日本。その地震・津波被害軽減研究では国際的な連携が必要不可欠です。本国際シンポジウムでは、被害地震が多発するインドネシア、台湾、日本の研究者を招いて、今後の地震・津波の減災科学研究について議論します。特に海底観測網・リアルタイム情報の利活用研究、シミュレーション研究、調査観測研究ならびに減災教育研究といった分野における研究の現状と成果について紹介します。

< 第二部 14:00～16:55 >

☆減災科学セッション 座長 Chikako Isouchi - 磯打 千雅子

1. Observation Network for Earthquake, Tsunami and Volcano Operated by NIED: Use and Application
防災科研が運用する地震津波火山観測網とその利活用
Shin Aoi - 青井 真(防災科学技術研究所)
2. Realtime Tsunami Prediction System Using DONET for Shikoku Area
四国地域のDONETを用いた即時津波予測システム
Narumi Takahashi - 高橋 成美(防災科学技術研究所)
3. Engineering Approach for Real-time Seafloor Observation
海底のリアルタイム観測技術
Katsuyoshi Kawaguchi - 川口 勝義(海洋研究開発機構)
4. Numerical Calculations of Tsunami Caused by the 2011 Tohoku Earthquake Considering Dispersions in Short-and Long-Wavelength
分散性を考慮した2011年東北地方太平洋地震の近地・遠地津波シミュレーション
Toshitaka Baba - 馬場 俊孝(徳島大学)
5. Study on Approach of Sustainable BCMS/DCMS -Case Study of Company BCMS-
サステイナブルなBCMS/DCMSのあり方に関する考察-企業のBCMSを事例に-
Chikako Isouchi - 磯打 千雅子(香川大学)
6. Hazard Mapping of Earthquake-induced Landslides by Using Airborne Resistivity Data
空中電磁探査データを用いた地震時斜面崩壊危険箇所の抽出
Atsuko Nonomura - 野々村 敦子(香川大学)
7. A Proposal of Recovery Strategy for Road Networks After Earthquake Disaster Using Resilience Engineering Approach
レジリエンスエンジニアリング手法による地震災害後の道路ネットワークの復旧戦略の提案
Wataru Shiraki - 白木 渡(香川大学)

< 第二部 16:55～17:00 >

☆閉会挨拶 Yoshihiro Nakaya - 中舎 喜博(香川大学副学長)

～アクセスマップ～



香川大学林町キャンパス(工学部)

〒761-0396

香川県高松市林町2217-20

【交通アクセス】

公共交通機関(JR高松駅より)

◆ことでんバス【65レインボー経由フジグラン十川行】
「香川大学工学部前」下車

◆ことでん琴平線「太田駅」で下車

◇太田駅よりバスの場合
【太田駅サンメッセ線】「香川大学工学部前」下車

◇太田駅よりタクシーの場合約8分

◇太田駅より徒歩の場合約30分

高速道路

◆高松中央IC(高松自動車道)より車で約5分

◆タクシー

・JR高松駅タクシー乗り場より 約30分

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。

6号館(総合研究棟)

2階 6201講義室

講義棟2階より2号館を通り
抜けて総合研究棟へお入り
ください。

3号館(講義棟)
会場への入口

工学部・本館

工学部・本館

お問い合わせ

香川大学四国危機管理教育・研究・
地域連携推進機構 企画調整室

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL 087-864-2544 FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

〆切 2月16日(木)

※当日参加も可能です。

シンポジウム参加申込書

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いいたします。
ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウムでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

ご所属	ご芳名	電話番号	E-mail
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			